

研究成果の情報発信と 大学図書館

千葉大学附属図書館

尾城 孝一

ojiro@ll.chiba-u.ac.jp

機関リポジトリ

「審議のまとめ」

- 科学技術・学術審議会『学術情報の流通基盤の充実について(審議のまとめ)』(平成14年3月12日)
 - 「大学等から発信される様々な学術情報が簡便に利用できるためには、総合的な情報の発信窓口(ポータル機能)を設置し、統一的な規約によって情報を発信する必要がある。このために、大学図書館が中心となって、...情報発信のためのシステムの設計・構築を行う必要がある」

機関リポジトリ (Institutional Repository) とは

■ 定義

- 大学等の学術機関内で生産された, さまざまな学術情報を収集し, 蓄積し, 配信することを目的とした, インターネット上の電子書庫

■ Institutional Archives Registry (Eprints.org)

- 243リポジトリ (2004年12月6日現在)
- <http://archives.eprints.org/eprints.php>

期待される効果

■ 研究者にとって

- 自らの研究成果の管理, 発信, 保存のコスト削減
- 自らの研究成果のインパクトの向上

■ 大学にとって

- 大学としての社会に対する説明責任の履行
- 研究機関としての知名度(ブランド)の向上

■ 図書館にとって

- 学内における存在感の向上

オープンアクセス運動と機関リポジトリ

- オープンアクセスとは
 - 学術論文への障壁なきアクセス
- 2つのロードマップ
 - オープン・アクセス誌の創出
 - 掲載論文への障壁なきアクセスを許す雑誌の創出
 - [Directory of Open Access \(DOAJ\)](#)
 - セルフアーカイビング
 - 著者が、電子論文をインターネット上に蓄積し、それを無償で公開する行為
 - 受け皿(個人サイト, 分野別eプリントアーカイブ, 機関リポジトリ)

千葉大学学術成果リポジトリ

CURATOR: Chiba University's Repository for
Access To Outcomes from Research

千葉大学学術成果リポジトリ

- 千葉大学内で生産された電子的な知的生産物（学術論文，学位論文，プレプリント，統計・実験データ，教材，ソフトウェアなどの学術情報）を蓄積，保存し，学内外に公開するためのインターネット上の発信拠点

経緯

■ 平成14年度

- 館内ワーキンググループの設置
- 国内外の動向調査
- 学内教官を対象としたアンケート調査実施
- プロトタイプ・システムの開発着手

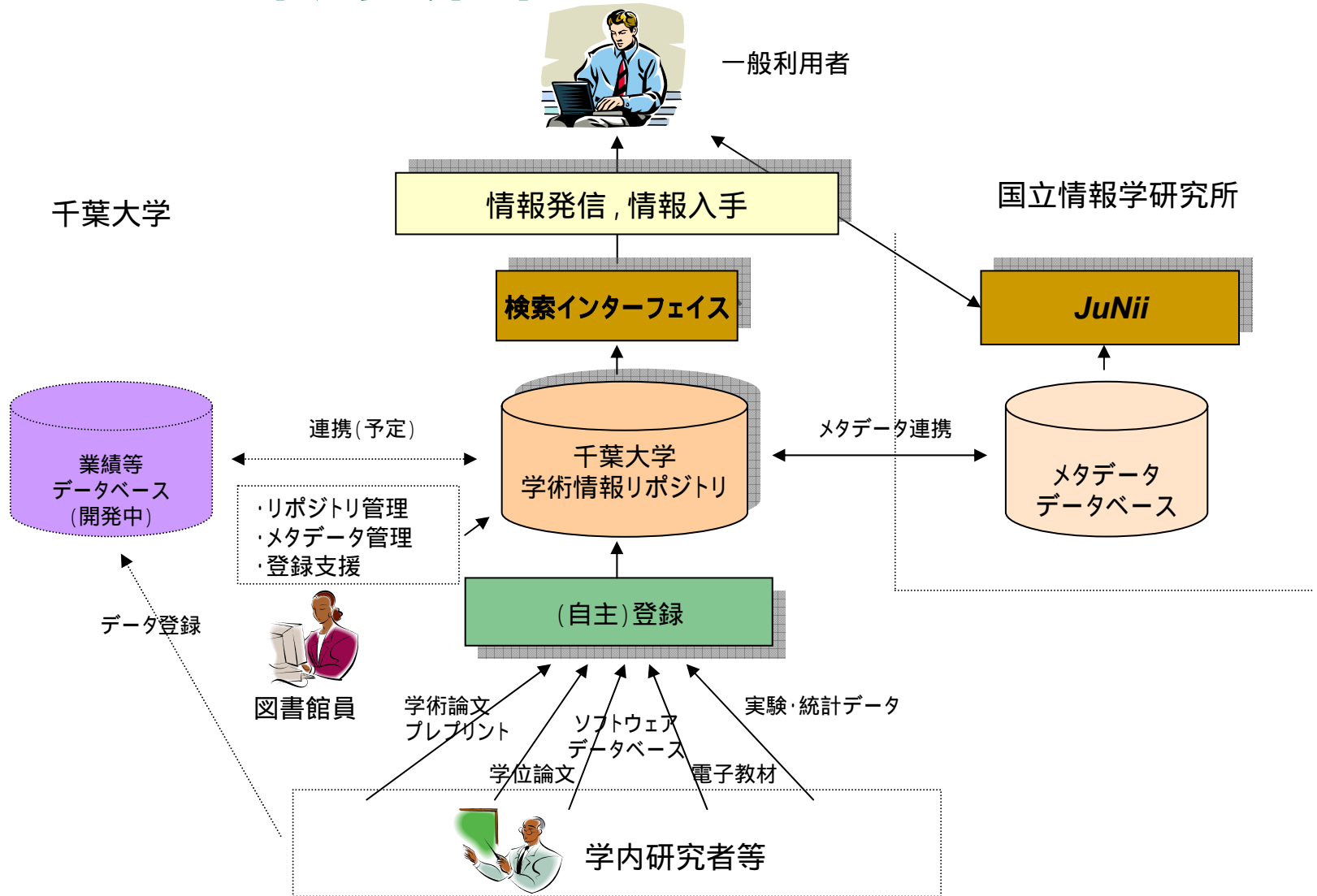
■ 平成15年度

- 「学術情報発信に関する懇談会」
- 附属図書館長の下に「学術情報発信のための協力者会議」設置
- 運用方針の策定, システムの改良

■ 平成16年度

- 附属図書館運営委員会の下に「学術情報発信専門委員会」設置
- 正式運用開始, リポジトリの公開(予定)

システム概要図



デモンストレーション

- <http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/>

構築と運用上の課題

学内合意形成

- なぜ機関リポジトリが必要なのか？
 - 存在意義について理解を求める
 - 期待される効果
- なぜ図書館が運営するのか？
 - 従来の図書館機能の延長(学術情報の収集, 組織化(メタデータ, 主題分析), 利用提供, 保存)
 - 著作権及び学術コミュニケーションをめぐる諸問題に関するエキスパート
 - 技術的なノウハウの蓄積
- 財源の確保

運用方針の策定

■ コンテンツ・ガイドライン

- 登録可能な投稿者(誰が登録できるのか?)
- 登録可能なコンテンツの種別(論文,教材,ソフトウェア,データセット等々)
- 登録可能なコンテンツの形態
- 品質管理(査読に相当する品質管理のプロセスが必要か?)
- 登録したコンテンツの削除(取り下げ)

■ 利用許諾契約書

- コンテンツをリポジトリに蓄積し公開するための非排他的権利の譲渡を求める

システムの準備

■ オープン・ソース

- A Guide to Institutional Repository Software v 3.0

- <http://www.soros.org/openaccess/software/>

- 機関リポジトリ構築ソフトウェアガイド(上記ガイドの翻訳)

- http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/osi_guide_3/

■ 商用ソフトウェア

- bepress (Berkeley Electronic Press)

- インフォコム

- CMS

- USACO(開発中)

■ ホスティング・サービス

- BioMed Central Open Repository

- <http://www.openrepository.com/>

登録促進(障壁)

■ インセンティブの欠如

- 登録のメリットは？
- 登録しなくても何のペナルティもない

■ 登録行為に対する抵抗感

- 手間がかかる
- 時間がない

■ 著作権に関する懸念

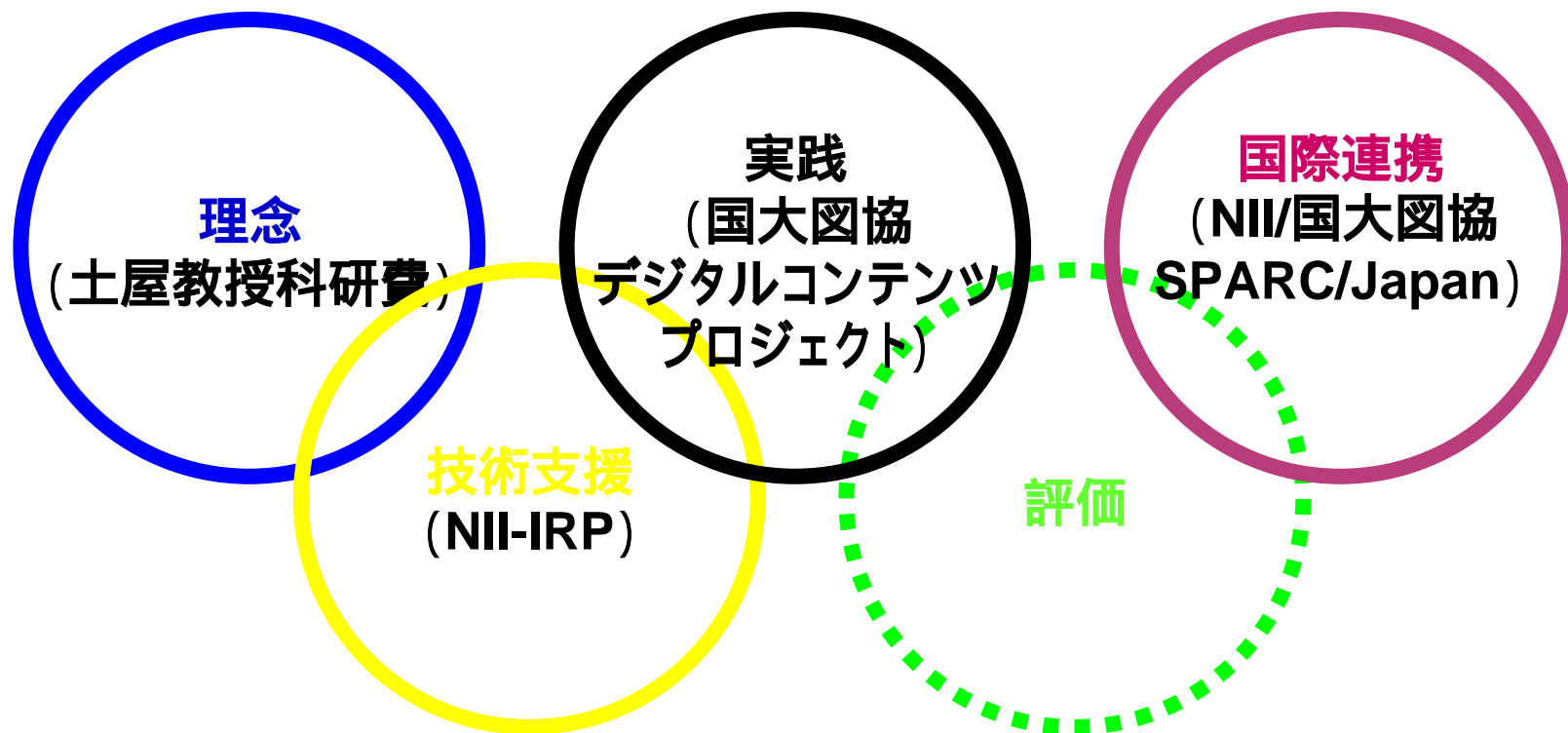
- (特に学術誌掲載論文の場合) 登録する権利があるのか？

登録促進(方策)

- インセンティブの欠如
 - メリットの強調(アメ)
 - 強制力(ムチ)
- 登録行為に対する抵抗感
 - 使いやすい簡易な登録インターフェースの提供
 - 図書館員による登録支援
- 著作権に関する懸念
 - 出版社のポリシーの報知
 - 参考:<http://romeo.eprints.org/>

今後の展望

国内機関リポジトリ関連プロジェクト



リポジトリ連携による理想像

